

交通安全NEWS

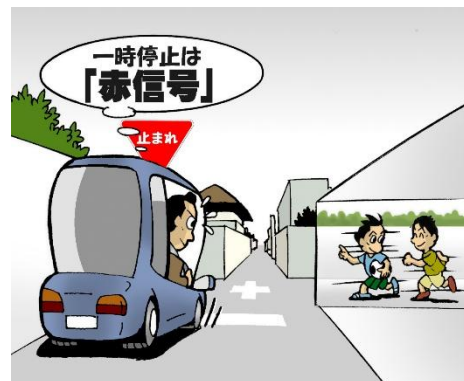
Monthly Report

2026. 10

特集 道路標識、忘れていませんか？

運転免許を取得する際の学科試験(自動車等の運転に関する法令の知識)に合格したドライバーでも、道路標識について、時間の経過とともに意味を忘れたり、新しく制定されたことを知らなかったりすることはないでしょうか。

そこで、今号では道路標識の認知度を紹介し、正しく理解することの重要性をあらためて考えます。



1 道路標識の認知度分布

道路標識毎の認知度を調査するために、SOMPOリスクマネジメントで運用しているeラーニング「標識クイズ」の正解率※の分析を行いました。

※ 1,312人に90種の道路標識(規制標識、指示標識、警戒標識)から10問ずつをランダム出題。

選択肢3つからの択一選択方式。(当社調べ)

データの種類の多さを面積で表す「ツリーマップ」で見ると、正解率70%以上が61種で全体の68%を占めています(部)。一方で、正解率40%未満が7種15%(部)と、認知度が低い道路標識もあります。

正解率のツリーマップと道路標識の例





正解率ワースト5の道路標識

正解率ワースト5の道路標識についてあらためて確認してみましょう。

順位／ 正解率		【標識の名称】／説明・ポイント
1位 13.6%		【規制予告】 この先で表示されている 交通規制が行われていることを予告 しています。 （画像はこの先が車両通行止めであることを予告している）
2位 14.6%		【原動機付自転車の右折方法（小回り）】 二段階右折ではなく、 小回り右折 をしなければならないことを示します。
3位 25.9%		【二輪の自動車以外の自動車通行止め】 車両通行止めではなく、 二輪の自動車のみ 通行できることを示します。
4位 27.1%		【二方向交通】 センターラインのない対面通行道路 であることを示します。 一方通行からの切り替わり時などに注意が必要です。
5位 27.2%		【車両横断禁止】 道路を 横断して右側 の施設等に入ることを禁止しています。



道路標識の重要性

道路標識は、次のような役割があります。

規制標識	指示標識	警戒標識
車両や歩行者に対し、交通上の禁止・制限・指定を行う。	交通方法を指定したり、通行上必要な情報を指示したりする。	運転者に対して道路上の危険や注意すべき状態を予告し注意を促す。

道路標識を理解することは、危険の事前回避、スムーズな交通、交通違反の防止につながることから重要です。この機会に、復習してみてもはいかがでしょうか。

■国土交通省「道路標識等」 <https://www.mlit.go.jp/road/sign/sign/>

損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
 <公式ウェブサイト><https://www.sompo-japan.co.jp>

SOMPOリスクマネジメント株式会社

〒163-6028 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー28階
 <公式ウェブサイト><https://www.sompo-rc.co.jp>
 SOMPOグループの一員です。

お問い合わせ先

有限会社やまもと総合保険事務所
 〒702-8006
 岡山市中区藤崎394
 電話： 086-276-6140
 メール： big1-y@galaxy.ocn.ne.jp